

吉野の戦に至る新社会の建設は

然るに吉野戦後者の最大の任務である吉野戦後者の
者は是に依りて希望あり又歡喜あり所以であ
る然れども然らざるは吉野の運動の終局である
即ち吉野の現在をより良き幸福をよりたむるこ
がより最大の急務であるべきを信ずる是れが組合
が茲に新なる宣言と致す所以である
去學の先づ現象に接直關係ある経済上は又政治
に力を注ぐ可き要あるを信ずる而し非んば下り体験
を過去に於て経たる同志は決して如何なる場合に立
つとも決して、此の精神を曲ぐべきではない
吉野の歩み未だりし悲壯なる過去は決して又走
事ではない、此れども決するに念であるた、餘り理想
を追つて止まずが、在事實がある、
即ち茲に思想的潔癖を去り小異を捨て大同に
依り燃ゆるが如き精神と合せし意義ある團結を以
て社会的に正当なる地位の且現を圖らんとす
者である

大正十三年七月四日

檜嶽分會聯合會

本吉野分會聯合會

綱領草案(中)

吉野は諸君の同聲絶陸の叫聲を以て
共同團結の力に依り着きたる方針を以て
福利向上地位の改善を以て事業を期し相
相愛援助を以て徹せん事を期す

大正十三年七月四日

檜嶽分會聯合會

本吉野分會聯合會

決議草案(中)

吉野は一致協力して同業労働者の團結
進進を圖り全国労働者階級と相提携する
目的の爲め徹り努力を期す

右決議す

大正十三年七月四日

檜嶽分會聯合會

本吉野分會聯合會